

Dance Dance Dance

ダンス

ダンス

ダンス



|(公財)日本スポーツ協会に正加盟!

2024年パリ五輪にブレイクダンスが
追加種目候補に選定!

WDSF公認
第21回東京オープン・ダンススポーツ選手権



公益社団法人
日本ダンススポーツ連盟
Japan DanceSport Federation

2019 No. 91





来たときよりもキレイに!

~スポーツの心、環境と未来へ~



JAPANESE OLYMPIC COMMITTEE
公益財団法人 日本オリンピック委員会



日本スポーツ協会への正加盟と今後の方針



公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

専務理事 山田 淳

JDSFは、これまで「ビジョン2024」を策定して活動してきましたが、本年3月に、その大きな目標の一つであった日本スポーツ協会(旧称日本体育協会)への正加盟が実現しました。これによりダンススポーツの国体参加、またシニア版国体といわれる日本スポーツマスターズに参加できるようになります。

国体参加の実現は、社交ダンス愛好者の高齢化と激減傾向に歯止めをかけるべく、学校の課外活動などでの普及の切り札にもなります。国体参加を実現するためには、全てのJDSFの県連盟がその県の体育協会に加盟している必要があるため、未加盟の県連盟への支援を全力で行う方針です。

また、具体的な国体参加に向けて、各都道府県での若年層の育成を加速する方策について最優先課題としてディスカッションしているところです。

〈オリンピックファミリーの仲間入り〉

ビジョン2024のもう一つの大きな柱は、ダンススポーツのオリンピック参加です。

ダンススポーツの一員であるブレイクダンスは、昨年ユースオリンピックの正式種目に。JDSFからJOCを通して派遣された日本代表選手が金メダルを獲得したばかりですが、この度2024パリ・オリンピックの正式種目となる見通しであることがマスコミで大々的に取り上げられました。これによりJDSFはオリンピックファミリーの仲間入りをし、JOCなどから多くの支援を受けられるようになることが期待されます。

オリンピックファミリーの地位を得た後は、ブレイクダンス種目を突破口に、徐々にラテン種目、スタンダード種目を加え、総合的にメジャースポーツ化を目指して行きたいと思えます。

〈ダンス文化の再構築〉

競技ダンスばかりでなく、良い音楽が流れたら自然に身体が動き、技術は関係なく、日常生活の中でいつ何処で踊ってもおかしくないような環境にして行き

たいものです。ディナーの合間に気軽なコミュニケーションのダンスというシーンが日常的であるようにしたい、もっとやさしいダンスの普及を目指して、社交ダンス部の活動が始まっています。

〈次世代にバトンを渡すために〉

音楽のあるところにダンスがあります。2013年の「ダンスコレクション」イベントの成功をベースに、ニュージェネレーションダンス本部を中心に挑戦しているダンス種別の垣根を撤廃する施策により、若年層の愛好者を確実に増やすことが今後の重要課題です。若者に人気のヒップホップカルチャーと社交ダンスとは、学校教育の場でもその総合力でアプローチすべきと考えています。

高齢化しつつある都道府県連盟においても、社交ダンス以外の若いダンス愛好者を受け入れ、補完しあって新たな都道府県連盟を構築して行くことこそが、次世代に向けた社交ダンスの生き残り策だと考えています。

〈PD部門の役割〉

今回の日本スポーツ協会への正加盟実現は、3年前に設立したPD部門の成功が大きな要素となりました。IOCに認められたWDSFが進める「ダンススポーツ」の普及に賛同する人たちが、アマプロを越えてJDSFに集結したとみなされたためです。

教室はダンス普及の要です。社交ダンスの教室がどんどん廃業に追い込まれる厳しい環境の中で、JDSFではダンス教室の新たな事業モデルの構築など、ダンス教室事業推進部を中心に認定ダンス教室を支援して行きたいと考えています。

この他にも、若手の競技選手を中心とした未来創造事業部の活動、若手PD選手の経営参加、オリンピック・マーケティングなど新たな挑戦とともに、組織変革委員会を中心に組織そのものを大きく見直し、この急激な環境変化に対応していきたいと考えています。

ダンススポーツがオリンピック種目へ！

2024年パリ オリンピックにダンススポーツ - ブレイキンほぼ確定！！



記者会見となったJDSF本部事務所に隣接のDTC（ダンストレーニングセンター）にて左から山田理事、山田専務理事、石川ブレイキング部長、河合選手、半井選手と司会を務めた金後さん

2月21日(木)、2024年パリ オリンピック（五輪）組織委員会は、開催都市枠として国際オリンピック委員会（IOC）に対して提案する追加種目候補を発表。2018年夏季ユース五輪で初めて行なわれたダンススポーツ競技のブレイキン（ブレイクダンス）種目が候補に入りました。他に候補となったのは2020年東京五輪で初採用となる若者の人気を重視したスケートボード、スポーツクライミング、サーフィンで、野球・ソフトボール、空手は除外されました。この報道に公益社団法人日本ダンススポーツ連盟（JDSF）事務所には問い合わせが殺到し、急遽、22日午後7時からユース五輪金メダルの河合来夢（神奈川県立百合丘高2年）さんと銅メダルの半井重幸（大阪学芸高校2年）さんも駆けつけ、記者会見を開催しました。



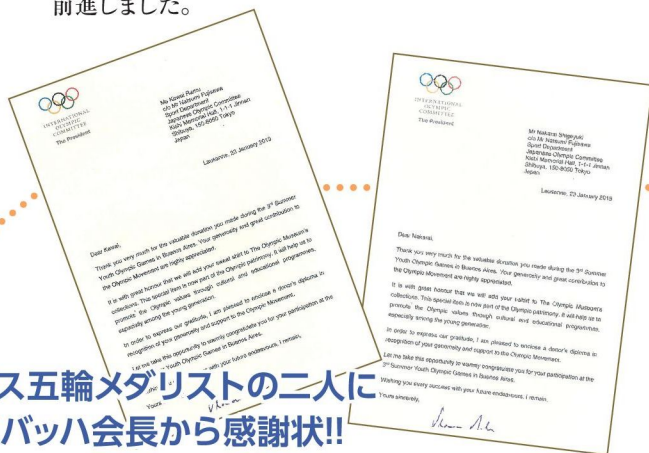
山田淳JDSF専務理事はユースオリンピックまでの経緯を説明したあと、「ユース五輪での成功を受けて国際オリンピック委員会（IOC）から非常にいい感触を受けている。世界的に日本のレベルは高く日本選手のメダル獲得の可能性は非常に高い。今後、選手強化育成も

図り、確実にメダルを獲れるようにしていきたい」と挨拶。ユース五輪で監督を務めた石川勝之のブレイクダンス部長は「予想はしていた。五輪に反対する一部の仲間もいるのは確かだが、ブレイキンはスポーツとして広く認知されることを望み後押ししてくれる仲間も世界中に大勢いる。五輪種目になることはブレイキンにとっては素晴らしいこと。五輪に向けて競技や採点ルールなどのさらなる見直しも検討していきたい」と話しました。

ユース五輪のブレイクダンス女子で金メダルに輝いた河合来夢さんは「五輪の体操やテニスをテレビで見ていて、母と“いつか五輪種目になったらいいね”と話していた。これで

たくさんの人が夢と希望を持ち、そして目標と捉えてくれる。是非、金メダルを獲得したいです」と笑顔で話し、半井重幸さんは「銅メダルに終わったその時から、オリンピック種目になったら次こそパリで金メダルを獲りたいと思った。そのつもりで翌日から猛練習に励んでいます！」と力強く話しました。

3月27日（水）、国際オリンピック委員会（IOC）は、の理事会において2024年パリ五輪の追加種目候補にブレイクダンス、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィンの4競技を承認しました。6月に開かれるIOC総会の承認と、2020年東京五輪の3競技の実施状況の検証を踏まえて、2020年12月の理事会で各種目の選手数を含めて最終決定されます。ダンススポーツ - ブレイキンのオリンピック参加実現はプエノスアイレスのユースオリンピックの競技大成功をバネに大きな弾みをつけ、オリンピック正式種目へ大きく前進しました。



ユース五輪メダリストの二人にIOCバッハ会長から感謝状!!

ユース五輪金メダルの河合来夢さんと銅メダルの半井重幸さんはそれぞれのシャツをIOCに寄贈、「オリンピック・ミュージアム」に収められIOCバッハ会長から両名あてに感謝状が届きました。

オリンピックの歴史や競技などを紹介する博物館「オリンピック・ミュージアム」は、「近代オリンピックの父」と呼ばれるクーベルタン男爵の意志を受け継ぎ、国際オリンピック委員会（IOC）が本部を構えるスイスのローザンヌに1993年に開館したオリンピックの殿堂です。3000平方メートルの敷地に選手のユニフォームや道具をはじめ、各大会のトーチ、メダルなど約1500点を展示。競技を疑似体験できる施設や1000を超える試合映像を観賞できるコーナーも設けられています。

2024年パリ五輪の追加種目候補

スケートボード、サーフィン、スポーツクライミング、ブレイクダンス、空手、柔道、レスリング、バドミントン、フェンシング、射撃、水泳、陸上競技、自転車競技、馬術、冬季五輪種目など

2024年パリ五輪追加種目候補

IOC、4競技を選定
ブレイクダンスなど

野球・ソフト・空手 落選

24年パリ五輪追加種目候補
IOC、4競技を選定
ブレイクダンスなど

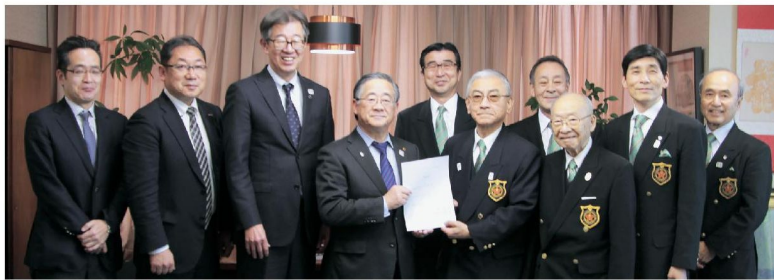
苦戦の予想 現実に

現地の人気会場選手数
苦戦の予想 現実に

▲2月22日付、日本経済新聞朝刊

▲3月28日付、日本経済新聞夕刊

日本スポーツ協会(旧日本体育協会)に正式加盟!



笑顔のJSPSとJDSFの役員



日本スポーツ協会の泉正文副会長兼専務理事と齊藤斗志二会長

正式加盟承認書

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟(JDSF)は、1999年6月当時の日本体育協会加盟(安西孝之会長)から承認をいただきましたが、準加盟でした。以来、JDSFにとって、正式加盟は「目指せオリンピック!国体参加!!」の悲願でした。各都道府県・市区町村DS連盟の各体協加盟促進、日体協公認指導員・コーチ制度の導入と促進、国体におけるデモンストレーション競技としての大会の開催実績、国体開催地における内閣総理大臣賞争奪都道府県対抗戦の開催などの長年に渡る一つひとつの積み重ねにより、悲願の正式加盟申請は今年に入り急展開、3月20日の公益財団法人 日本スポーツ協会(JSPS:昨年4月に日本体育協会から名称変更)の臨時評議員会において、JDSFの正式加盟が承認されました。結果的にスポーツとしてのダンス(ダンススポーツ)が評価され、ダンス界からの単独加盟となりました。これにより、ダンススポーツの国民スポーツ大会参加を目指します。

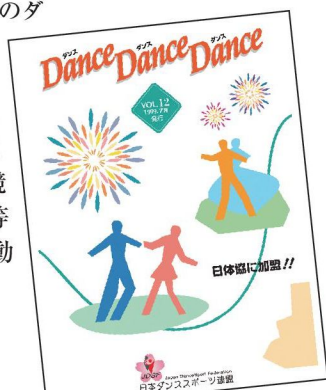
東京渋谷の岸記念体育館(公財)日本スポーツ協会会館において、4月3日、正式加盟の承認書授与式が行なわれました。JDSFを代表して齊藤斗志二会長が日本スポーツ協会の泉正文副会長兼専務理事から承認書を受け取り、列席された日本スポーツ協会(JSPS)幹部の方々とJDSF田邊重光副会長、山田淳専務理事はじめ出席の役

河合来夢さん宛 半井重幸さん宛

親愛なるカワイ様 親愛なるナカライ様
ブエノスアイレスでの第3回夏季ユースオリンピックにおいて貴重なご寄付を賜り誠に有難うございました。
あなたの寛容さとオリンピックムーブメントへの多大なる貢献により感謝申し上げます。
あなたのスウェットシャツをThe Olympic Museumのコレクションに追加することを大変光栄に思います。この特別アイテムは現在、オリンピックの財産の一部となりました。これらは、特に若い世代の間で、文化的および教育的プログラムを通してオリンピックの価値観を促進することに大いに役立つことと存じます。私たちの感謝の気持ちを表すために、あなたの寛大さとオリンピックムーブメント支援に対する寄付者様へのドナーディプロマ(証書)を同封することを嬉しく思います。
この機会をかりて、此度のブエノスアイレスでの第3回夏季ユースオリンピック出場を心から祝福します。
あなたの将来におけるあらゆる成功を願ってやみません。
敬具

トーマス・バッハIOC会長

員の間で、将来に向け有意義な情報交換がありました。
平成の最後に正式加盟団体に加わり当協会は直近の目標として、ダンススポーツの国民体育大会とシニア世代で生涯スポーツに親しんでいる人の21世紀の新しいスポーツの場である日本スポーツマスターズ正式競技種目化、昨年のユースオリンピックで日本に栄冠をもたらしたブレイクダンス(ブレイキン)などのダンスの新潮流の活性化と整備、さらには2024年パリ五輪でも話題のダンススポーツ競技(ブレイクダンス種目)のオリンピック正式競技種目化とルールの整備等を掲げて、今後も力強く活動を進めていきます。



DDD第12号(1999年7月号)に掲載の清水康夫JDSF相談役の記事

日本体育協会への加盟なる

相談役 前法人化・体協加盟促進委員長 清水康夫

口頭承認後、特別評議員会、臨時評議員会、山

7月1日より正式加盟となる。

このことは、わが国でもダンススポーツ

の正式加盟として認められたことあり、

これを機に、国際ダンススポーツ連盟

に正式加盟し、国際ダンススポーツ連盟

の正式加盟として認められたことあり、

これを機に、国際ダンススポーツ連盟

に正式加盟し、国際ダンススポーツ連盟

の正式加盟として認められたことあり、

これを機に、国際ダンススポーツ連盟

に正式加盟し、国際ダンススポーツ連盟

の正式加盟として認められたことあり、

これを機に、国際ダンススポーツ連盟

に正式加盟し、国際ダンススポーツ連盟

の正式加盟として認められたことあり、

これを機に、国際ダンススポーツ連盟

に正式加盟し、国際ダンススポーツ連盟

の正式加盟として認められたことあり、

これを機に、国際ダンススポーツ連盟

に正式加盟し、国際ダンススポーツ連盟

の正式加盟として認められたことあり、

これを機に、国際ダンススポーツ連盟

に正式加盟し、国際ダンススポーツ連盟

の正式加盟として認められたことあり、

これを機に、国際ダンススポーツ連盟

に正式加盟し、国際ダンススポーツ連盟

の正式加盟として認められたことあり、

日本ダンススポーツ連盟(JDSF)は、1999年6月当時の日本体育協会加盟(安西孝之会長)から承認をいただきましたが、準加盟でした。以来、JDSFにとって、正式加盟は「目指せオリンピック!国体参加!!」の悲願でした。各都道府県・市区町村DS連盟の各体協加盟促進、日体協公認指導員・コーチ制度の導入と促進、国体におけるデモンストレーション競技としての大会の開催実績、国体開催地における内閣総理大臣賞争奪都道府県対抗戦の開催などの長年に渡る一つひとつの積み重ねにより、悲願の正式加盟申請は今年に入り急展開、3月20日の公益財団法人 日本スポーツ協会(JSPS:昨年4月に日本体育協会から名称変更)の臨時評議員会において、JDSFの正式加盟が承認されました。結果的にスポーツとしてのダンス(ダンススポーツ)が評価され、ダンス界からの単独加盟となりました。これにより、ダンススポーツの国民スポーツ大会参加を目指します。

東京渋谷の岸記念体育館(公財)日本スポーツ協会会館において、4月3日、正式加盟の承認書授与式が行なわれました。JDSFを代表して齊藤斗志二会長が日本スポーツ協会の泉正文副会長兼専務理事から承認書を受け取り、列席された日本スポーツ協会(JSPS)幹部の方々とJDSF田邊重光副会長、山田淳専務理事はじめ出席の役

河合来夢さん宛 半井重幸さん宛

親愛なるカワイ様 親愛なるナカライ様

ブエノスアイレスでの第3回夏季ユースオリンピックにおいて貴重なご寄付を賜り誠に有難うございました。

あなたの寛容さとオリンピックムーブメントへの多大なる貢献により感謝申し上げます。

あなたのスウェットシャツをThe Olympic Museumのコレクションに追加することを大変光栄に思います。この特別アイテムは現在、オリンピックの財産の一部となりました。これらは、特に若い世代の間で、文化的および教育的プログラムを通してオリンピックの価値観を促進することに大いに役立つことと存じます。私たちの感謝の気持ちを表すために、あなたの寛大さとオリンピックムーブメント支援に対する寄付者様へのドナーディプロマ(証書)を同封することを嬉しく思います。

この機会をかりて、此度のブエノスアイレスでの第3回夏季ユースオリンピック出場を心から祝福します。

あなたの将来におけるあらゆる成功を願ってやみません。

敬具

トーマス・バッハIOC会長

日本ダンススポーツ連盟(JDSF)は、1999年6月当時の日本体育協会加盟(安西孝之会長)から承認をいただきましたが、準加盟でした。以来、JDSFにとって、正式加盟は「目指せオリンピック!国体参加!!」の悲願でした。各都道府県・市区町村DS連盟の各体協加盟促進、日体協公認指導員・コーチ制度の導入と促進、国体におけるデモンストレーション競技としての大会の開催実績、国体開催地における内閣総理大臣賞争奪都道府県対抗戦の開催などの長年に渡る一つひとつの積み重ねにより、悲願の正式加盟申請は今年に入り急展開、3月20日の公益財団法人 日本スポーツ協会(JSPS:昨年4月に日本体育協会から名称変更)の臨時評議員会において、JDSFの正式加盟が承認されました。結果的にスポーツとしてのダンス(ダンススポーツ)が評価され、ダンス界からの単独加盟となりました。これにより、ダンススポーツの国民スポーツ大会参加を目指します。

東京渋谷の岸記念体育館(公財)日本スポーツ協会会館において、4月3日、正式加盟の承認書授与式が行なわれました。JDSFを代表して齊藤斗志二会長が日本スポーツ協会の泉正文副会長兼専務理事から承認書を受け取り、列席された日本スポーツ協会(JSPS)幹部の方々とJDSF田邊重光副会長、山田淳専務理事はじめ出席の役

河合来夢さん宛 半井重幸さん宛

親愛なるカワイ様 親愛なるナカライ様

ブエノスアイレスでの第3回夏季ユースオリンピックにおいて貴重なご寄付を賜り誠に有難うございました。

あなたの寛容さとオリンピックムーブメントへの多大なる貢献により感謝申し上げます。

あなたのスウェットシャツをThe Olympic Museumのコレクションに追加することを大変光栄に思います。この特別アイテムは現在、オリンピックの財産の一部となりました。これらは、特に若い世代の間で、文化的および教育的プログラムを通してオリンピックの価値観を促進することに大いに役立つことと存じます。私たちの感謝の気持ちを表すために、あなたの寛大さとオリンピックムーブメント支援に対する寄付者様へのドナーディプロマ(証書)を同封することを嬉しく思います。

この機会をかりて、此度のブエノスアイレスでの第3回夏季ユースオリンピック出場を心から祝福します。

あなたの将来におけるあらゆる成功を願ってやみません。

敬具

トーマス・バッハIOC会長

日本ダンススポーツ連盟(JDSF)は、1999年6月当時の日本体育協会加盟(安西孝之会長)から承認をいただきましたが、準加盟でした。以来、JDSFにとって、正式加盟は「目指せオリンピック!国体参加!!」の悲願でした。各都道府県・市区町村DS連盟の各体協加盟促進、日体協公認指導員・コーチ制度の導入と促進、国体におけるデモンストレーション競技としての大会の開催実績、国体開催地における内閣総理大臣賞争奪都道府県対抗戦の開催などの長年に渡る一つひとつの積み重ねにより、悲願の正式加盟申請は今年に入り急展開、3月20日の公益財団法人 日本スポーツ協会(JSPS:昨年4月に日本体育協会から名称変更)の臨時評議員会において、JDSFの正式加盟が承認されました。結果的にスポーツとしてのダンス(ダンススポーツ)が評価され、ダンス界からの単独加盟となりました。これにより、ダンススポーツの国民スポーツ大会参加を目指します。

東京渋谷の岸記念体育館(公財)日本スポーツ協会会館において、4月3日、正式加盟の承認書授与式が行なわれました。JDSFを代表して齊藤斗志二会長が日本スポーツ協会の泉正文副会長兼専務理事から承認書を受け取り、列席された日本スポーツ協会(JSPS)幹部の方々とJDSF田邊重光副会長、山田淳専務理事はじめ出席の役

河合来夢さん宛 半井重幸さん宛

親愛なるカワイ様 親愛なるナカライ様

ブエノスアイレスでの第3回夏季ユースオリンピックにおいて貴重なご寄付を賜り誠に有難うございました。

あなたの寛容さとオリンピックムーブメントへの多大なる貢献により感謝申し上げます。

あなたのスウェットシャツをThe Olympic Museumのコレクションに追加することを大変光栄に思います。この特別アイテムは現在、オリンピックの財産の一部となりました。これらは、特に若い世代の間で、文化的および教育的プログラムを通してオリンピックの価値観を促進することに大いに役立つことと存じます。私たちの感謝の気持ちを表すために、あなたの寛大さとオリンピックムーブメント支援に対する寄付者様へのドナーディプロマ(証書)を同封することを嬉しく思います。

この機会をかりて、此度のブエノスアイレスでの第3回夏季ユースオリンピック出場を心から祝福します。

あなたの将来におけるあらゆる成功を願ってやみません。

敬具

トーマス・バッハIOC会長

第21回東京オープン・ダンススポーツ選手権

WDSF PDスーパーグランプリ・スタンダード
U-23 オールジャパン・ダンススポーツカップ スタンダード&ラテン

2019年3月10日(日)／駒沢オリンピック公園総合運動場体育館

国内最大のダンススポーツ国際競技大会として、世界のトップ選手が熱く競い合う東京オープンが3月10日に開催されました。

1999年、前年のIDSF（現WDSF）世界選手権を契機に第1回大会が実施されて以来、今回が第21回目の大会となります。一昨年から競技に加わったPD部門大会も3回目となり、WDSF公認の世界ランキングポイント取得対象の3競技に、U-23の2種目をあわせた全5競技が実施されま

した。今年会場を東京の駒沢オリンピック公園総合運動場体育館に移し、早朝から20時過ぎまで繰り広げられた参加選手の熱気あふれるダンスに、会場を埋めた数千人の観客が沸きました

7時55分、日吉俊彦実行委員長の開会宣言、山口剛チエーパーソンの諸注意に続き、競技はU-23のスタンダード競技、ラテン競技からスタートしました。



日吉俊彦
大会実行委員長



山口剛
チエーパーソン

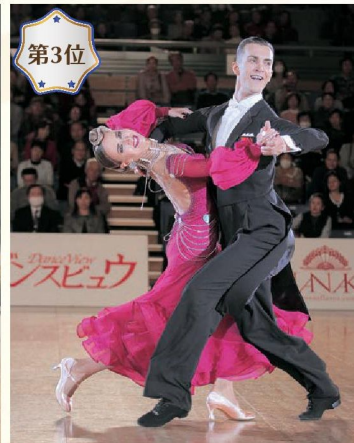
WDSF ワールドオープン・スタンダード

出場組数57組のワールドオープン・スタンダードでは、海外からの参加が26組。そのなかから決勝に残ったのは、残念ながらすべて海外勢でした。優勝の栄冠はイタリアのガルッポ&パチーニ組となりました。第17回大会で同じく優勝、第19回、第20回大会で続けて準優勝という、東京オープンではすでになじみとなっている強豪です。決勝の5種目すべてで1位という実力を、遺憾なく発揮した試合となりました。

チーム日本からは、惜しくも準決勝に進むカップルはありませんでした。しかしながら、ベスト24には菅原&Collavizza組、小嶋&盛田組、大西組、五月女組の4組が進み、次回以降にその若い力が発揮される希望をつなぎました。



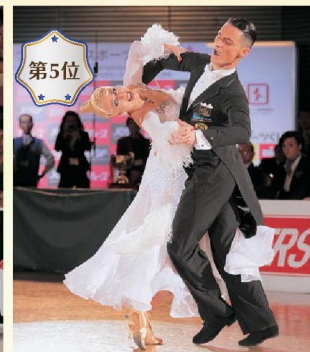
アントン・スクラトフ &
アレナ・ウェーリン 組 (ドイツ)
Anton Skuratov & Alena Uehlin



エドガース・リニス &
エリザ・アンカーネ 組 (ラトヴィア)
Edgars Linis & Eliza Ancane



トマス・ファインシル &
ヴィオレッタ・ポスメトナヤ 組 (ドイツ)
Tomas Fainsil & Violetta Posmetnaya



バスクアレ・ファリナ &
ソフィー・コボルグ 組 (デンマーク)
Pasquale Farina & Sofie Koborg



ウィンソン・タム &
アナスタシア・ノヴィコワ 組 (カナダ)
Winson Tam & Anastasia Novikova



フランチェスコ・ガルッポ &
デボラ・パチーニ 組 (イタリア)
Francesco Galuppo & Debora Pacini

活躍した日本選手



小嶋みなと & 盛田めぐみ 組 (神奈川県)



大西大品 & 大西咲葉 組 (東洋大学・富山県)

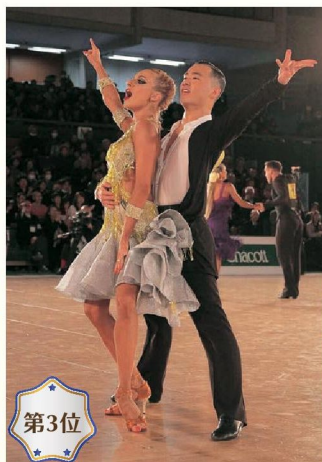
WDSF インターナショナルオープン・ラテン

エントリー 29組の過半数を超える18組が海外選手という熱戦。なかでも世界ランキング3位4位の熾烈な闘いが注目を集めました。競り合いを制し、栄冠を勝ち取ったのはイマメッディノフ&ベッツボア組でした。激しく競ったグセフ&ボンダレーワ組に全種目で競り勝った完全優勝でした。

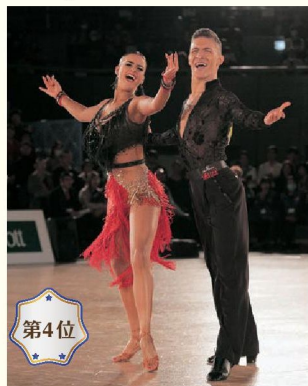
日本勢からは八谷&皆川組と菅原&Collavizza組の2カップルが準決勝に駒を進め、さらに大西組、大久保&吉村組など5組がベスト24に名を連ね、世界レベルへ王手をかける意気込みを見せました。昨年の第20回大会において藤井&吉川組が勝ち取った決勝進出に続く、将来の活躍を期待させてくれる踊りを観客の前に披露してくれました。



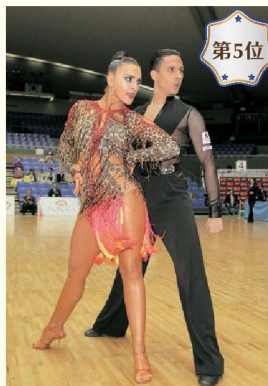
アンドレイ・グセフ & ヴェラ・ボンダレーワ 組 (ロシア)
Andrey Gusev & Vera Bondareva



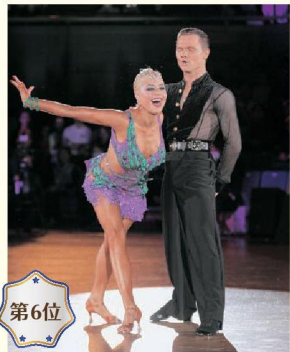
ウィンソン・タム & アナスタシア・ノヴィコワ 組 (カナダ)
Winson Tam & Anastasia Novikova



ラズワン・ドミトレスク & ジャクリーヌ・ジュース 組 (ドイツ)
Razvan Dumitrescu & Jacqueline Joos



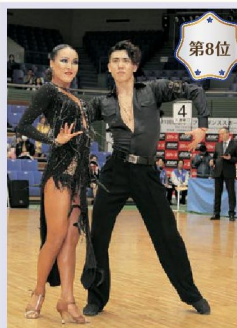
アルチュール・アンケシュタイン & ジョルジーナ・バルブ 組 (ドイツ)
Artur Ankestein & Georgina Barbu



デニス・グドブスキー & マリア・イズトバ 組 (ロシア)
Denis Gudovskiy & Maria Izotova



ティムール・イマメッディノフ & ニーナ・ベッツボワ 組 (ドイツ)
Timur Imametdinov & Nina Bezzubova



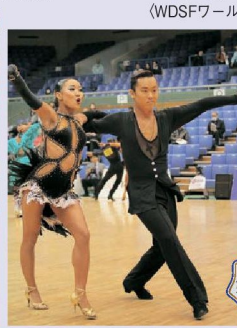
八谷和樹 & 皆川 円 組 (千葉県)



菅原一樹 & Laura Collavizza 組 (東京都)
(WDSFワールドオープンS第14位)



大西大品 & 大西咲菜 組 (東洋大学/富山県)



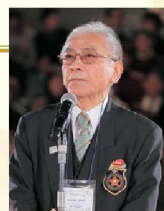
大久保稔也 & 吉村春香 組 (東京都)

活躍した
日本選手

グランドセレモニー

16時をまわり、競技も次第に佳境へと向かうなか、グランドセレモニーが開始されました。ステージ中央にWDSF旗が進み、プラカードを先頭に各競技参加選手、審判員、大会役員が入場し整列します。国旗掲揚と国歌独唱から、WDSF役員の挨拶、WDSF旗、選手、審判員、大会役員の退場を経て、主催者を代表し齊藤斗志二(公財)日本ダンススポーツ連盟(JDSF)会長がスピーチを行ないました。

2018年のアルゼンチンでのユースオリンピックでブレイキングが日本に金メダルをもたらしたこと、2024年のパリオリンピックの正式種目提案などに触れ、今日がダンススポーツ発展のための大切な時期でありその努力を惜しまないことの強い表明が聞かれました。



齊藤斗志二
JDSF会長



北辰商事(株)ロチャースの
太田順康社長の祝辞



田口綾弓さんによる国歌斉唱

PD優秀選手表彰

第1回ロヂャース杯東京オープンからのスポンサーシップの伝統を持つ北辰商事(株)ロヂャース。今年度からはPD優秀選手表彰を実施することとなりました。第1回の対象として、スタンダード部門にオレクシー・グザー&太田吏圭子組、ラテン部門には久保田弓柳&徳野夏海組が選ばれ、ロヂャースの太田順康社長から表彰状などが授与されました。



WDSF PDスーパーグランプリ・スタンダード



優勝

ニコライ・ダリン & ナタリア・セレディナ 組 (モルドバ)
Nikolay Darin & Natalia Seredina

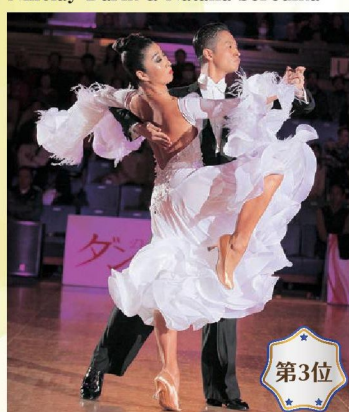


準優勝

アンドレイ・モティル & エカテリーナ・キム 組 (ロシア)
Andrey Motyl & Ekaterina Kim

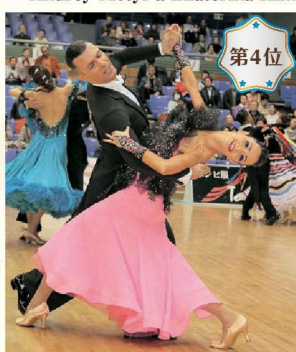
世界ランキング上位目白押しの海外選手25組を含む48組で競われたワールドスーパーグランプリ。その激戦を制したのはモルドバのダリン & セレディナ組でした。直前の世界ランキングでは、準優勝となったロシアのモティル & キム組の後塵を拝したものの、決勝の5種目すべてで1位を獲得しての完全優勝を勝ち取りました。

世界の強豪を迎え撃つ形となった日本所属選手は、残念ながらセミファイナルに残ることはできませんでしたが、オレクシー & 太田組15位、石原組16位、久保田 & 徳野組18位などと、今後の健闘を期待させる結果を残してくれました。



第3位

チェン・ダン & リ・チェンニー 組 (中国)
Chen Dan & Li Chenni



第4位

アレックス・ダモラ & マリア・ゴレリク 組 (イタリア)
Alessandro D'Amora & Maria Gorelik



第5位

アレックス・イラリオーニ & アウローラ・スバルデッラ 組 (イタリア)
Alessandro Ilarioni & Aurora Sbardella



第6位

マルツ・プニンス & ダナ・ヤコブゾーネ 組 (ラトヴィア)
Marts Punins & Dana Jakobsons

ご来賓の皆さん



ベスト24の
日本所属選手

オレクシー・グザー & 太田吏圭子 組 (リスメディア)

第15位



第16位

石原正幸 & 石原蘭羅 組 (東京都)



第18位

久保田弓柳 & 徳野夏海 組 (TEAM YUMIYA 北海道)

第13回 U-23 オールジャパン・ダンススポーツカップ スタンダード



- 表彰式
- 優勝 五月女光政 & 五月女淑佳 組(ブルボンDST)
 準優勝 松浦龍騎 & 松浦優莉華 組(宮城県)
 第3位 池田真太郎 & 打越 瞳 組(早稲田大学)
 第4位 尾崎亮介 & 土屋舞姫 組(東京都)
 第5位 和田陽介 & 佐藤奈々子 組(東京理科大学)
 第6位 金子孟史 & 杉原彩波 組(東京都)



第3位
池田真太郎 & 打越 瞳 組
(早稲田大学)

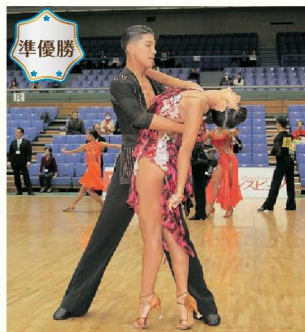


準優勝
松浦龍騎 & 松浦優莉華 組
(宮城県)



優勝
五月女光政 & 五月女淑佳 組
(ブルボンDST) 〈同La優勝〉

第13回 U-23 オールジャパン・ダンススポーツカップ ラテン



準優勝
リン・ユンチェン &
チュアン・ヤーチン 組(台湾)



第3位
ショーン・リン &
ファン・シーフェイ 組(台湾)



- 表彰式
- 優勝 五月女光政 & 五月女淑佳 組(ブルボンDST)
 準優勝 リン・ユンチェン & チュアン・ヤーチン 組(台湾)
 第3位 ショーン・リン & ファン・シーフェイ 組(台湾)
 第4位 杉本雄大 & 山口万葉 組(東京都)
 第5位 佐藤大樹 & 川合真桜子 組(東京工業大学)
 第6位 金子孟史 & 杉原彩波 組(東京都)

ジュニアアスリートクラブ表彰&未来ダンサー応援プロジェクト

ダンススポーツの若い力を積極的に育てていくジュニアアスリートクラブと未来ダンサー応援プロジェクトの活動が紹介され、大勢の子供たちがフロアに登場。楽しくてたまらないような笑顔で踊りを披露します。終了後にはWDSFや大会役員から全員にブルボンのお菓子が贈られました。



子どもたちに贈られた
ブルボンのお菓子



第28回全国公認指導員・審判員・PD会員ダンススポーツコンgres

東京オープンの前日3月9日(土)、ファーストプレイス東京大ホールにおいて開催されました。この講習会は、JDSFの公認指導員・公認審判員・PD会員・公認A級技術認定員・公益財団法人日本スポーツ協会(旧:日本体育協会)公認競技別指導者養成講習会・同公認スポーツ指導者資格更新のための講習会として開催され、約350名の参加がありました。

岸尾政弘総務部長の司会で始まり、冒頭、中道俊之普及本部長(JDSF理事)から開会の挨拶と共に、2024パリオリンピックにおいて組織委員会からダンススポーツ競技のブレイキンが有力な候補種目と公表されたこと、組織変革委員会が発足し中道理事が委員長に就任したこと、ドリームステージNo 1 & 2のレッスンビデオが発売されたこと等の話がありました。

実技講座の講師は、ラテンは2018年世界選手権4位世界ランキング3位のアンドレイ・グセフ&ヴェラ・ボンダレーワ組(ロシア)、スタンダードは同世界選手権3位世界ランキング5位のフランチェスコ・ガルツポ&デボラ・パチーニ組(イタリア)、そして通訳はお馴染みとなった岸本真氏

(JDSF-PD審判員)が務めました。

ラテン実技講座では、「音楽と表現の変化」と題して、音楽とは技術ではない何かがある。各種目の表現の違い、役者のように踊るのではなく、サンバであれば腰から、チャチャであれば膝と足の連携など、具体的に体の部分の使い方を教えて、動きを通して解説がありました。

スタンダードでは「タンゴの進化」と題してタンゴの踊り方の変化、現代のタンゴは、組んだ時のポジションは男子は右足を引くのではなく、右足の左に単に左足を置くだけ。そしてバックホルテの踊り方の変化などにも触れ、参加者が実際に体を動かし体験する講習会となりました。



中道俊之普及本部長
の挨拶



ラテンの講習 グセフ組 中央は通訳の岸本真氏



スタンダードの講習風景

優勝インタビュー

WDSF ワールドオープン・スタンダード フランチェスコ・ガルッポ& デボラ・パチーニ (イタリア)

2014年の大会から毎年のように参加しています。2015年に優勝、ただ2017年と2018年は準優勝だったので、この大会で2度目の優勝を飾れて本当に満足しています。

参加回数が多いこともあって、まるで地元の大会で踊っているようです。観客の皆さんが温かく応援してくれるのが踊りながらでもしっかり感じられるのもとても気分良く、どんどん自分たちのダンスが乗ってくるような気分の良さがありました。カップル歴は20年、8歳のときからのペアですから、ダンスでは一心同体で普通になっています。スピーディで気持ちこもった踊りで楽しんでもらうために私たちの目指すところは一緒。その情熱で世界チャンピオンを目指します。



第13回 U-23 オールジャパン・ ダンススポーツカップ スタンダード&ラテン 五月女光政・五月女淑佳 (フルボンDST)

「スタンダード、ラテンともに優勝することがカップルの目標だったので、本当に嬉しいです。踊っている感触もとても気持ち良く、東京オープンでの両部門優勝は今後進む世界に向けて良い一歩になったと感じています」 光政選手

「駒沢は観客席がとても近くて応援を肌で感じました。一昨年は優勝を逃し、昨年は出場していないので一年ぶりの東京オープン。本当にドキドキ緊張しながら挑みましたが、自分たちのベストを尽くして観客やジャッジにアピールできました」 淑佳選手



WDSF ワールドオープン・ラテン ティムール・イマメッディノフ & ニーナ・ベッツボリ (ドイツ)

すごくホットです。実は去年もこの大会にエントリーしていましたがパートナーが体調を崩して欠場。とても悔しい思いをしただけに、この優勝とはびきり嬉しいという気持ちになっています。

この会場は観客席との距離が近いだけに、自分たちのダンスで皆さんの目をしっかり惹きつけられたように感じました。私たちはいつも、その都度少し違った2人を見てもらいたいというポイントを心がけています。ステップや表現の仕方に工夫を凝らしているダンスを踊っているつもりなのです。その点でも今回は素晴らしい。2人が表現する微妙なところまで、皆さんに確実に伝えられたんじゃないかと思っています。



WDSF PDスーパーグランプリ・スタンダード ニコライ・ダリン & ナタリア・セレディナ (モルドバ)

この大会で優勝し、オナードダンスを踊ることができて私たち2人ともに大変嬉しく、光栄なことだと感激しています。PDに転向して初めての日本での試合ですが、それ以前を含めるとこの国で踊るのは4回目です。その間に大好きになった日本での優勝というのも、この喜びのひとつの原因になっています。

実は衣装に個性を出してみました。燕尾服ではなく正装のジャケットスーツで踊ったのです。特に観客の皆さんからのエキサイティングな応援が、私たちの踊りに大きな力を与えてくれたことに感動しています。いつも、自分たちのベストなダンスをみていただくことを心がけているので、それに応えてくれる熱い反応はとても励みになります。

今回印象的だったのは、日本の皆さんの踊りのレベルが非常にアップしていて、しっかり練習を積み重ねていることが実感できたことでした。



大好評!! スリムストレッチエンビ

超軽量のストレッチエンビを
15万(税別)から受注生産賜わります!

夏の暑さ対策に朗報!

サラサラ
ストレッチ素材

七分袖のメンズサマードレスシャツを
6/1より販売開始!

スリムタイプ or レギュラータイプをご用意
—— ご期待ください ——

東京・秋葉原 東京トリキン(株)
Torikin

エンビのトリキン

TEL.03-3866-4854 FAX.03-3866-4033

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-4-1 <http://www.torikin21.com>
営業時間/月~金 10:00~18:30 土日祝 10:00~17:30

モデル:三輪嘉広先生

平成30年度定例理事会

2019年3月3日(日)の14時から、東京都江東区有明の日本ダンススポーツ連盟DTCにおいて、平成30年度の定例理事会が開催されました。

理事会開催に先だって、本年2月に世界を駆け巡ったプレイキンの大きな話題、2024年にフランスで開催されるパリオリンピックの正式種目として、プレイキンが提案段階に入ったというニュースの概要がプロジェクターを利用して出席者に紹介されました。

続いて齊藤斗志二会長が理事会の開会を宣言し、第1号から第9号までの議案審議、続くパリ五輪報道、未来ダンスアスリート助成、アジアダンススポーツゲームズ2019 in TAKASAKIなどの報告事項へと議事進行へと移りました。

第1号議案の2018年度業務執行状況の報告では、各担当理事から1月31日時点までの詳細な状況が説明され、理事会は全会一致をもってその内容を承認しました。

第2号議案の2017年度JSC助成金処理の報告と承認の件に関し、経理処理の一部に記載漏れがあり、再発防止策を作成した経緯を承認しました。第3号議案では、5月竣工予定のJAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE内のシェアオフィス設置見送りが承認されました。

第4号議案は機構改革と役職者変更及び職務分掌規程改正の件です。

状況変化に伴った従来の職務分掌要領の見直しが承認されました。主な変更点は一部組織人事の変更及び、未来創造事業部、



齊藤斗志二会長の開会宣言

組織変革委員会、未来ダンスアスリート助成運用委員会などとなります。

第5号議案、当連盟顧問として太田順康北辰商事株式会社ロチャース代表取締役社長を選任することが承認されました。第6号議案は2019年7月6-7日開催予定のアジアンダンススポーツゲームズ2019 in TAKASAKIへの特定費用準備金の保有について。こちらは原案通りの承認となりました。

第7号議案の2019年度事業計画等の件については、(1)事業計画書、(2)収支予算書、(3)資金調達及び設備投資の見込みの各項について文書等を利用した詳細な説明がなされ、理事会は全会一致での承認を決定しました。

第8号議案の審判員資格停止の件、第9号議案の苦情申立再審査の件については、状況経緯報告と理事会での質疑応答を経て原案通りの承認に至りました。

以上をもって当日の議案審議が終了し、続いて議事は報告事項へと進みました。報告事項内容を以下に列記します。

1. パリ五輪報道と対応
2. 公益財団法人 日本ボールルームダンス連盟との合意状況
3. 未来ダンスアスリート助成の状況
4. FISE広島への参加
5. アジアンダンススポーツゲームズ2019 in TAKASAKI
6. 労基法改正に伴う対応
7. 倫理委員会報告
8. その他。

以上の報告の後、次回理事会を6月2日(日)14時からDTCに於いて開催、全国代表者会議を6月22日(土)13時から、総会を6月23日(日)14時からTFTビルに於いて開催することを承認し、定例理事会を閉会しました。



2024年パリ五輪の正式種目としてプレイキンの提案段階に入ったことを説明



東洋大学学長賞を受賞して

東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ科3年 吉川 あみ
2018年三笠宮杯 全日本ダンススポーツ ラテン・チャンピオン

この度、東洋大学でこれまでのダンススポーツの競技成績を含め、昨年度の第38回三笠宮杯ラテンの成績と学業の両立で学長賞を受賞することができました。

この賞を受賞するまでには本当に沢山の方々にお世話になりました。毎日一緒に練習し、同じ目標に向かって頑張ってきたパートナーには本当に感謝しています。沢山の方々に支えられてダンスを続けて来られたからこそ受賞できた学長賞だと思っています。

もちろん私自身とても努力しました。ダンスと勉強の両立はとても難しかったけれど、自分の中で目標があったから頑張れました。高校3年生のとき、正直大学に入らなくてもいいかなと考えていたこともありましたが、でも今は大学に入って本当に良かったと思っています。

大学では健康スポーツ学科に所属していて、解剖学や生理学、栄養学、コーチングやトレーニングについてなどを学んでいます。私がこの学科を選んだ理由は、将来ダンススポーツを続けていくうえで自分にとって、またダンススポーツをする人たちにとってこの学びが必要不可欠だと考えたからです。



現在、パートナーシップを解消し一人になり、自分を見つめ直すいい機会となりました。今まではダンス漬けの毎日でしたが、ダンス以外の勉強や人との交流を通して学ぶことがとても多い日々を過ごしています。全ての瞬間や全ての出来事が自分自身にプラスになると考えて、新しいことに沢山挑戦していきたいと思っています。

ダンスや勉強、全てにおいて手を抜くことは簡単だけど、真剣に取り組んだときの楽しさや達成感は、本気でやった人にはしか分からない特別なものがあります。学長賞授与式では様々なスポーツの日本一、世界一の方々と一緒に表彰されてとても光栄でしたが、ダンスで日本一になっても世界ではまだまだです。これからまた世界のトップになれるように素敵なパートナーを見つけて頑張っていきたいと思っています。今後も応援していただけたら嬉しいです。

ジュニア・ユースアスリートスプリングキャンプ報告

3月31日JDSF有明トレーニングセンターにて、ジュニア・ユースアスリートスプリングキャンプが開催されました。

普段は全国でそれぞれ活動している選手たちのために、技術の向上だけでなく、会員同士の親睦を図り、当クラブの目的でもあるアスリート選手としての立派な行動ができるように、毎年開催されています。今回はアスリート選手を夢見る43名の子供たち、下は6歳の新1年生から上は15歳の新高校生の皆さんが参加しました。中には遠く愛知県、宮城県から参加してくださる子供もいました。

午前中は三笠宮杯チャンピオン小嶋みなと・盛田めぐみ組によるスタンダードの講習。足元に紙を置いてみたり、頭にティッシュを乗せて踊ってみたり、工夫を凝らして細かい基礎の練習を楽しく学びました。講習の最後にはワルツの模範演技が披露され、子供たちを魅了しました。

お楽しみの昼休みには、子供たちは各自持参したお弁当。食べながら、全国のお友だちとお話をしたり、ブルボンDST選手と一緒に食事している子もいて、交流を深めていました。

午後からはブルボンDST選手とその卒業生によるラテンのワークショップ。まずは日比野湧・和野歩未組によるルンバ、五月女光政・五月女観佳組によるサンバ、石垣和宏・三喜穂菜美組によるチャチャチャ、最後にOBの藤井創太、渡辺安登、吉川あみ、石垣真衣の各選手によるジャイブの講習。そして、大西大晶・大西咲菜組は主に各種目の小学生のベーシックグループ指導を担当。内容は種目ごとに基礎練習、その後小学生と中学生に分かれてそれぞれベーシックグループとバリエーショングループの習得、最後に参加者による演技披露という流れで、盛りだくさんの内容でした。

サポートに当たっている選手も、一緒に本気で踊りながらのお手本を見せたり、シャドウ参加者や、小さい子たちと組んで踊ってあげるなど積極的にサポートを行っていました。最後にブルボンDST選手による模範演技、ブルボンDST

選手とのミキシング。そして、元ペアの藤井創太・吉川あみ組、渡辺安登・石垣真衣組による、即興の模範演技を披露してもらいました。

ブルボンDST選手、ブルボンOB・OG選手の皆様には、熱意を待って指導して頂き、また多くの子供たちと踊って頂き大変感謝しております。今後もこのような活動を続けたいと考えております。本年は8月20日に大阪での開催を計画しており、今後は更に進めて全国的な広がりをもせた活動をしていきたいと考えております。

ジュニア・ユースアスリートクラブには、18歳以下の競技会を目指す選手の皆さんが入会することができます。ジュニアサークルと併用しての登録も可能です。

JDSFのジュニアの取り組みについては、新しくリニューアルされるホームページを是非ご覧ください。

新JDSFホームページ → JDSFについて → ジュニア育成のとりくみ
(ジュニア育成部 渡辺裕美)



ジュニア育成部長の挨拶



真剣にシャドウを行なう子供たち



指導にあたった選手と参加した子供たち

第1回 PD祭 (関東甲信越PDブロック)

2019年2月3日(日) / 新宿京王プラザホテル エミネンスホール

まだまだ風の冷たさが身にしみるような2月3日、東京新宿の京王プラザホテルのそのホールだけは、拍手と軽やかな音楽にあふれていました。関東甲信越PDブロック運営委員会の第1回PD祭の会場です。

ドアオープンには13時。オープニングのウェルカムダンスタイムに続き、パーティは同様のダンスタイムを挟みながら、第1部トライアル、第2部アマチュアデモンストレーション、第3部アマチュアデモンストレーションへと進行していきました。

そして、来場の方々の心と体がリズムで一杯になった18時半からセレモニーの開始。PD本部本部長でもある田邊重

光日本ダンススポーツ連盟(JDSF)副会長のことは、主催者を代表したPD関東甲信越ブロック運営委員会の篠田龍佑委員長の挨拶、そして現役引退PDの引退セレモニー、ベストティーチャー表彰から、2017年度2018年度のブロックランキング表彰へと宴は進みました。山田淳JDSF専務理事の祝辞に続き、特別ゲストに未来ダンスアスリートの2組が登場。そしていよいよPD祭のメインイベントともいえる百花繚乱のPDによるスペシャルショータイムです。最後に篠田委員長の謝辞を出演PDの方々が盛り上げて、豪華な1日の幕が下ろされました。



田邊重光
PD本部本部長



主催者代表の
篠田龍佑委員長



山田淳JDSF専務
理事の祝辞



来賓の方々



PDアワードベストティーチャー
の高橋組と金城PD



引退セレモニーでは
ほおけの綱上げも



2017年度・2018年度ブロックランキング表彰



特別ゲストのラテンの
八谷和樹&皆川 組



特別ゲストのスタンダードの
小嶋みなと&盛田めぐみ 組



PDスタンダードチャンピオンの
アレクシー・グザー&太田史圭子組



山本武志&木嶋友美 組の
スローフォックストロット



サンバは西 恭平&西川真由 組



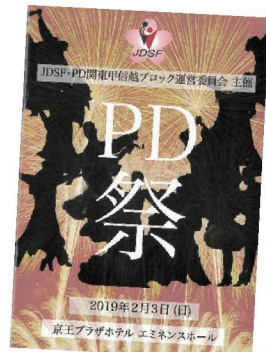
石原正幸&石原蘭羅 組はタンゴ



ワルツで魅せた
山崎圭太&石本美奈子 組



篠田委員長と全出演PD



次回 第2回 PD祭は
2020年2月2日、同じ会場での開催

千葉県ダンススポーツ連盟 創立40周年記念祝賀式

2018年12月23日(日) / TKPガーデンシティ千葉

主催：千葉県ダンススポーツ連盟

13時20分、会場がオープンし、ダンスタイムから始まりました。紳士、淑女で溢れるフロアとなり、参加者は362名です。14時からトライアル、ミキシング、ダンスタイムと皆様笑顔で楽しみました。

16時30分、いよいよ40周年記念式典の始まりです。金城庸夫千葉県DS連盟会長は式典に先立ち「40周年を迎えることができました。皆様のご支援に感謝。40年前、サークルでダンスを楽しんでいる皆さんに呼び掛け、千葉県で初めてまとまった組織になり、それから40年経ちました。スポーツの世界でも様変わり、テニスの大坂なおみ、水泳の池江璃花子、スケートの紀平梨花など、びっくりするように皆若い、若い選手が伸びている。千葉県はジュニア王国、次々と全日本のファイナル選手に成長しているレベルの高い県。老若男女にかかわらず、ダンスの輪を広げていきたい!」と挨拶。

続いて田中信行千葉県議会議員は、「大変な時間を掛けて皆さまが築き上げた組織。ダンスは楽しさと優雅さを持ち合わせた素晴らしいスポーツ。是非、オリンピックの正式



笑顔の受付

種目に期待している」と挨拶。清水聖士鎌ヶ谷市長は「鎌ヶ谷市の体育館では競技会など3つの行事を行なっているが、これからも鎌ヶ谷市の施設をいつでもご利用ください。さらに50年、100年のご発展を!」と述べ、小泉一成成田市長は「大河ドラマ“西郷どん(セゴどん)”が話題に! 勝海舟の“カツどん”、テレサテンの“テンどん”、北朝鮮の“テポどん”もドンドン話題に! 映画“Shall we ダンス?”はダンスブームを巻き起こした。今はキンタロー。がテレビ番組でダンスに挑戦。大変な努力と苦勞です。皆様は、生涯スポーツとしてのダンスで美容と健康をさらに向上されるように、地域の発展、連盟の発展とご健勝を!」と、ご来賓のご祝辞をいただきました。JDSF本部の山田淳専務理事は「千葉県連盟はJDSFの前身のJADA(日本アマチュアダンス協会)設立2年目にスタート、オリンピック・国体を目指して発展してきた。JDSF本部に多くの理事・役員を輩出されている。金城会長はじめ歴代会長・役員に感謝する」と挨拶しました。続いて表彰式が行なわれました。

★創立40周年記念特別表彰



特別表彰としてダンスシューズアユザワ代表の鮎澤洋氏(右から2番目)と表彰された皆さん

創立40周年記念特別表彰の選手



渡辺安登・中村安里組

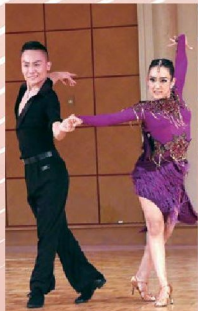


藤井創太・吉川あみ組

★2018年千葉県最高殊勲選手



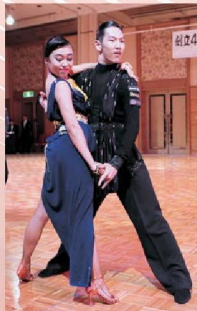
右から「ラテン部門」藤井創太・吉川あみ組、海老原竜太・遊佐美優子組、(スタンダード部門)石垣和弘・三喜穂菜美組



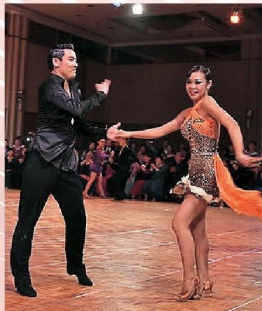
海老原竜太・遊佐美優子組



日比野湧・和野歩未組
(ブルボンDST)



石垣和弘・三喜穂菜美組
(ブルボンDST)



鈴木奨太・鈴木千尋組



表彰されたサークルの皆さん



渡辺英美副会長の乾杯でディナータイム。サークル表彰や技術認定会今年合格者紹介も行なわれました。

そして、お待ちかねのダンスのショータイムです。

JDSFエンターテインメントダンスの登場。ダンスを見て楽しんでもらうために、様々なジャンルのダンスを取り入れて活動をしています。ジュニア王国千葉県をリードする“ダンススタジオみやおか”のキッズ選手も総出演です。

あっという間に、素晴らしいダンスショーは終了。19時40分、40周年記念式典は閉会となりました。



金城庸夫会長



山田淳
JDSF専務理事



渡辺英美副会長の乾杯



田中 信行
千葉県議会議員



養命酒カクテルコーナー



各テーブルの上には養命酒のハーブのお酒が並びました

ご来賓



左から清水聖士鎌ヶ谷市長、ダンススタジオみやおかの宮岡光秋・ゆかりご夫妻、金城庸夫会長、小泉一成成田市長



ダンスタイム



永井彰JDSF理事茨城県DS連盟会長と百瀬みゆき長野県DS連盟会長夫人



お客様と
藤井創太さん



山口剛競技本部長と
吉川あみさん



JDSFエンターテインメントダンス



“ダンススタジオみやおか”のキッズ選手達



出演者一同



千葉県DS連盟役員一同

第39回三笠宮杯 全日本ダンススポーツ選手権

The 39th Imperial Highness Prince Mikasa Cup All Japan DanceSport Championships

JDSFダンススポーツランキングポイント取得競技会
WDSF世界選手権代表選考

舞い上がれ
日本の頂点へ! 世界の頂点へ!

2019年11月10日(日) 8:45~19:40

駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館

◆電車:東急田園都市線「駒沢大学駅」下車徒歩15分 ◆バス:恵比寿駅西口より「駒沢公園」下車

三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権
三笠宮杯全日本PDダンススポーツ選手権(毎日新聞社杯併賞)
JOCジュニアオリンピックカップ全日本選手権ジュニア
毎日新聞社杯全日本選手権ジュブナイル

大会事務局:〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2 有明センタービル1階公益社団法人日本ダンススポーツ連盟内「三笠宮杯実行委員会」

Tel:03-6457-1858 Fax:03-6457-1857

※電話でのお問い合わせは、13時~17時(土・日・祝日除く)にお願い致します。



ホームページ <http://www.jdsf.or.jp/>

主 催:公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟(JDSF)/公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団/東京都ダンススポーツ連盟

特別協賛:株式会社 **ブルボン**

特別後援:毎日新聞社(申)

後 援:スポーツ庁(申)/東京都(申)/公益財団法人 日本スポーツ協会(申)/
公益財団法人 日本オリンピック委員会(申)

おいしさ、思いやり、いつもいっしょに。



ブルボンは、公益社団法人日本ダンススポーツ連盟の活動を応援しています。

誰もが世界一になれるわけでもない
誰もが日本代表になれるわけでもない
それでも人はスポーツをする
昨日の自分に追い越されないために
明日の自分を追い越すために
スポーツに鍛えられた人生は
勝っても負けても きっと負けない

スポーツは、自分を超越するためにある。

スポーツくじ



スポーツくじ (toto・BIG) の収益は、日本のスポーツを
育てるために使われています。

長野県ダンススポーツ連盟

創立25周年記念祝賀パーティー

2019年1月13日(日)／長野県松本市 ホテル ブエナビスタ

主催：長野県ダンススポーツ連盟



朝10時、ドアオープンと同時にダンスを愛する大勢の方々が来場され、幕開けのダンスタイムとともに創立25周年の宴がスタートしました。

ラテンのトライアルに続き、直近1年の競技会で優秀な成績をおさめた会員を表彰するダンススポーツアワード2019で、3組5名の授賞式が行われ会場を沸かせました。再びのダンスタイム、スタンダードのトライアルと続いた式典は、12時30分から創立25周年の記念式典の開会の時を迎えます。

昨年、長野市ホワイトリングを舞台に、WDSF世界ダンススポーツ選手権シニアIVを主管・大成功に導いた長野県ダンススポーツ連盟を代表して、百瀬芳正会長が「偉大な先輩たちが築き上げてきた長野県ダンススポーツの伝統を、今後さらに大きく育てていきたい」という決意を語りました。ご来賓紹介、代表して(公社)日本ダンススポーツ連盟の金子和裕常務理事が、長野県連の努力を称えるお祝いの言葉を贈りました。

続いて創立25周年表彰。スポンサーに多大な支援を続けられた信陽食品株式会社様、さらに株式会社化研工業様、県連の高橋淳前会長、高橋てる子前事務局長、後藤晋旧長野県DSC会長、円滑な競技運営を支えた故日黒昭伸氏が表

彰され出席者には花束が贈られます。技術認定会合格者の表彰のあとにはサプライズが……。

祝宴はグループ発表へと進み、「シークエンスダンス」「南信ジュニアグループ」「むかびーず with M」の3団体の発表。続くプレミアタイムのソロデモンストレーションでは、踊り自慢の方々の晴れの姿が愉しめました。さらに北信、東信、中信、南信の県連4支部がそれぞれ趣向を凝らした支部対抗戦には、会場からの盛んな応援も加わります。

晴れの日のメインイベントは、16時30分からの特別ゲストデモンストレーションです。登場したのは久保田弓椰&徳野夏美組。昨年の世界選手権シニアIV大会に併催された関東甲信越ブロック選手権PDラテン部門で優勝を飾ったカップルでもあります。その久保田&徳野組による情熱ほとばしるばかりのラテンとスタンダードに、会場の温度も一気に上昇する中、7時間を超えた創立25周年の記念の宴は華やかに終演の時を迎えました。



百瀬芳正会長



長野県連の暖かな出迎え



技術認定会合格者を表彰



後藤晋・関子組



アワード表彰を受けた後藤晋・関子組と岡田明義・裕子組



創立25周年表彰：信陽食品の斎藤実社長



創立25周年表彰：高橋淳前会長



創立25周年表彰：後藤晋旧長野県DSC会長

ご来賓の皆様



サプライズダンス

県連の役員がそれぞれの来賓をダンスフロアに誘って、華麗なステップで会場から喝采を浴びました。



金子和裕JDSF常務理事



永井明茨城県DS連盟会長



笹山治一富山県DS連盟理事長



内藤速山梨県DS連盟会長



石川誠一新潟県DS連盟会長



竹島弘幸神奈川県DS連盟会長



支部対抗戦の優勝は北信支部

フォーメーション



ソロデモを披露したちびっ子たち



特別ゲストデモンストレーション



久保田弓椰 & 徳野夏美組のスペシャルデモ



フィナーレの百瀬会長と久保田 & 徳野組

第15回札幌圏ダンススポーツ競技大会

2019年2月3日(日) / 札幌市白石区民センター 5F 区民ホール

北海道 札幌は雪の中!

札幌市白石区民センターで第15回札幌圏ダンススポーツ競技大会が開催されました。心配された悪天候にはならず、晴天となりました。会場は地下鉄白石駅から直接繋がっており、参加選手は荷物を持っての移動が大変楽です。外は雪が背丈よりも高く積み上げられ、道路は真っ白。固まった雪はツルツルと滑ります。翌日から始まる日本最大の雪の祭典「さっぽろ雪まつり」の準備も整いました。

注目のオープンスターダートは地元選手稲垣浩・伊藤千恵美組が前回に続き2連覇を達成、嬉しいオナーダンスを披露しました。オープンラテンは斉藤崇幸・玉井絵里子組が優勝に輝きました。



藤本憲司
実行委員長

高橋毅札幌圏
DS連盟会長

オープン戦 スタンダード



優勝

稲垣 浩・伊藤千恵美組(北海道DSC)



第3位

小林 進・小林麻理組(北海道DSC)



第4位

豊澤健治・加藤木由記組
(シャルウィダンス札幌)



第6位

脇谷 強・石田豊子組
(北海道DSC)

オープン戦 ラテン



第3位

原 栄一・吉村三千代組(北海道DSC)



準優勝

福永茂樹・工藤恵美子組(北海道DSC)
(スタンダード5位)



優勝

斉藤崇幸・玉井絵里子組(シャルウィダンス札幌)
(スタンダード準優勝)

B級戦 スタンダード表彰式

- 優勝 北山安延・今井昭子組(シャルウィダンス札幌)
- 準優勝 原 栄一・吉村三千代組(北海道DSC)
- 第3位 福永茂樹・工藤恵美子組(北海道DSC)
- 第4位 小野木均・齊藤繁子組(北海道DSC)
- 第5位 北風拓真・阿部雪乃組(札幌アミクス)
- 第6位 大平光男・芳賀節子組(シャルウィダンス札幌)



優勝

北山安延・今井昭子組



優勝

北風拓真・阿部雪乃組



B級戦 ラテン表彰式

- 優勝 北風拓真・阿部雪乃組(札幌アミクス)
- 準優勝 伊藤 傑・清水仁生組(北海道DSC)
- 第3位 原 栄一・吉村三千代組(北海道DSC)
- 第4位 宮脇 守・今井久留美組(北海道DSC)
- 第5位 水野谷道宏・高萩好江組(サンライズDSC)
- 第6位 土屋龍男・坂本小夜子組(サンライズDSC)

C級戦



スタンダード表彰式



ラテン表彰式

D級戦



スタンダード表彰式



優勝
ラテン



ダンスタイム

★きらきら輝く星達★

この大会では、普及競技として、年齢制限なし・公認級出場のカップル同士以外の組合せペア・女性同士も可として毎回注目されています。

プレジュニア戦、ワンデーカップル戦出場の子どもたちは、スタンダード、ラテン共にリーダー、パートナー役を自由自在に相手を替えて、まるでパズルのようです。週4回練習に励み、競技会は月1回くらい出場しています。「目標は久保田弓椰・徳野夏海組、海外ではリカルド コッキ・ユリア組です!」と元気に答えてくれました。日頃の練習の成果を十分に発揮し、観客の目を和ませてくれた子どもたちは、未来の宝ですね。

プレジュニア・スタンダード



第3位
北風拓真・佐野未友果組
(札幌アミクス) 〈ラテン3位〉



準優勝
押切萌琉・坂本未来組
(北海道DSC)



優勝
押切雅易弥・近江谷莉奈組
(北海道DSC) 〈ラテン準優勝〉



第4位
小原遼史・小原菜々華組
(北海道DSC) 〈ラテン4位〉

ワンデーカップル

スタンダード



優勝
押切萌琉・野邊真李甫組
(北海道DSC)



第3位
北風拓真・北風智代組
(札幌アミクス)



第4位
阿部雪乃・佐野未友果組
(札幌アミクス) 〈ラテン4位〉

プレジュニア・ラテン



優勝
坂本未来・押切萌琉組(北海道DSC)

ラテン



準優勝
押切雅易弥・小原菜々華組
(北海道DSC) 〈スタンダード準優勝〉



第3位
坂本未来・近江谷莉奈組
(北海道DSC)



第4位
小原遼史・押切萌琉組
(北海道DSC)

鹿児島県ダンススポーツ連盟 20周年記念式典

2019年2月24日(日)／城山ホテル鹿児島エメラルドホール



吉原眞智子実行委員長



吉原睦巳会長



川内博史名誉会長



居樹保朗理事



藍沢寛一
九州ブロック委員長



谷口浩一鹿児島県
教育庁教育次長

表彰式



鹿児島県DS連盟の発展に寄与された方々に表彰状が贈られました。(敬称略)
特別功労者表彰：川内博史、大重笑子、吉原眞智子
団体表彰：ベーシックキャンセ、ひまわりダンススポーツクラブ
功労者表彰：井上朝子（代理）、井手裕美、池山節夫
選手功労者表彰：中村辰郎、中野久美子

鹿児島県DS連盟20周年記念式典が開催され、約300名が参加、盛大な祭典となりました。当初は昨年9月30日に予定されていましたが、最大瞬間風速が全国55地点で観測史上最大を記録した台風24号による東日本の太平洋側を中心に記録的な暴風雨の結果、前日急遽中止決定となり、改めて日程調整を行なって、この日の開催にこぎつけました。

吉原眞智子実行委員長（常務理事）の開会宣言で記念式典は始まりました。鹿児島県DS連盟は、1998年（平成10年）鹿児島県アマチュアダンス協会として発足しました。吉原睦巳会長は、20年の歴史に触れ、ご来賓や役員・参加者に謝辞を述べ「発足以来ダンススポーツの普及と発展に努めてきた。高齢化に対応して県内各地区の組織の充実を図り、地域に密着した活動を行なって来た。2024年パリオリンピックのダンススポーツ・ブレイクダンス（ブレイキン）開催も広い意味でダンススポーツの発展と理解し、日本スポーツ協会正加盟も合わせ、今後のご支援を賜りたい」と挨拶しました。

ご来賓の三反田訓鹿児島県知事代理として谷口浩一鹿児島県教育庁教育次長から「ダンススポーツのさらなる振興を祈念する」とご挨拶をいただきました。

JDSFを代表して居樹保朗理事（東京都DS連盟会長）は「鹿児島県DS連盟はJDSFの発展に寄与された」と謝辞を述べた後「ブレイクダンスは、アルゼンチンの首都ブエノスアイレス開催のユースオリンピックで金メダル2個獲得。2024年パリオリンピックでも金メダルが十分期待できる。日本スポーツ協会（旧日体協）の正加盟、国体正式種目も近い!」と挨拶。藍沢寛一九州ブロック委員長（大分県DS連盟会長）は、「九州ブロックの発展に大変な寄与をされている。

来年の鹿児島国体のデモンストレーション競技、そして都道府県対抗戦を楽しみにしている」と祝辞を述べました。

受賞者を代表して川内博史名誉会長（衆議院議員）は「初代会長の頃を思い出していた。ダンスを通じて、明るい未来を皆さんと共有したい。今も週1度ダンスを楽しんでいる。良い世の中を創るために最大限の力を尽くす!」と挨拶されました。

坂本省一熊本県DS連盟会長の乾杯で昼食会に移りました。

柳田浩美副会長からは、来年（2020年）の鹿児島国体でデモンストレーション競技、そして都道府県対抗全国ダンススポーツ大会と、2つの大きな競技会について、皆様方のご協力よろしく!!」と報告がありました。

記念大舞踏会はダンスタイム、競技選手のトライアルが披露されました。

ご来賓の皆様



スペシャルゲスト 藤井創太・吉川あみ組ファイナルデモンストレーション



カップルは解消ですが、
それぞれダンスを
これからも続けますので、
二人共に応援よろしく
お願い申し上げます。
(藤井創太・吉川あみ)



2018年三笠宮杯全日本選手権ラテン3連覇を果たし、2016年と2017年三笠宮杯スタンダードでも連続準優勝、東京オープンではラテン競技に絞り見事に決勝入りを果たした、全日本チャンピオンのカップル。この日で「藤井・吉川組はカップル解消、本日が本当のラストダンス」と告げ、藤井選手は「死ぬ気で踊ります」。吉川あみさんは「ソーちゃんにはホントに感謝しています」と挨拶!スタンダードはワルツで始まり、ラテンは鬼気迫る迫力のパソドブレを踊り、最後に万感の思いを胸に、応援してくれた多くの方々に感謝の気持ちを込めてルンバを披露、二人の目には、涙、参列者も感激の涙でした。藤井選手から吉川選手にサプライズの花束が贈られ、あみさんの目にまた涙が溢れ、会場は万雷の拍手に包まれました。

スタンダード

トライアル

ラテン



久木崎英樹・久木崎小百合組



中村辰郎・中野久美子組



山下善二郎・若松君江組



川内博史・加治木妙子組



唐鎌悟・唐鎌睦子組



安楽剛・安楽留美子組



神田勝・日高敦子組



中島康雄・中島あい子組



富田昌貴・森優子組



ゲストを囲んで役員一同



記念誌とプログラム





ASIAN DANCESPORT GAMES 2019

in TAKASAKI

ADSFアジアダンススポーツフェデレーション公認

アジアダンススポーツゲームズ2019 高崎アリーナ

開催日 2019年7月6日(土)~7日(日) 9:00~18:00

開催場所 群馬県高崎市 高崎アリーナ



10ダンスシングルダンス選手権/ユース10ダンス選手権/ブレイクダンス
サルサ/チアリーディング/ラインダンス/パラダンススポーツ

エキジビション 一輪車パフォーマンス

※各ジャンルワークショップ開催(パラダンススポーツは除く)

主催: 公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟

協力: 公益財団法人 高崎財団



ダンス・ダンス・ダンス
第91号 (SPRING)

令和元年5月発行

■発行人/山田 淳(公益社団法人日本ダンススポーツ連盟専務理事)
■編集人/神宮周二(公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部相談役)
■編集長/佐藤望之(公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部長)
■企画/公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部
■発行所/公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2 有明センタービル1階 TEL.03-6457-1850 FAX.03-6457-1857
<http://www.jdsf.or.jp>

©本誌の記事・写真の無断転載を禁じます。